

ふたご森の  
キルンダさんとウエルンダさん

— 大切な森のおはなし —

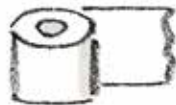


# し たいせつ もり やくわり 知ってる?大切な森の役割

もり き は  
森には木がいっぱい生えているね。

き み は どうぶつ とり むし ほん  
木の実や葉っぱは、いろいろな動物や鳥や虫たちのご飯だよ。

もり い もの  
森はたくさんの生き物のすみかなんだ。



もり き にんげん やく た  
森の木は人間のくらしの役にも立つよ。

うち つくえ かぐ もり き  
みんなのお家や机や家具は森の木からできているね。

まいにち つか かみ  
毎日使うノートや、ティッシュやトイレの紙なども、

やっぱりもり き から つく して 知ってたかな?



みず くうき  
水や空気を

きれいにしてくれるのも、

もり き はたら  
森の木の働き。

もり にんげん どうぶつ  
森は、人間にも動物にも、

な  
無くてはならない

たいせつ  
大切なものなんだよ。



もり ふたり  
さあ、森にすむ二人のおじいさんのおはなしのはじまりだよ。

むかしむかし、ふたご<sup>もり</sup>森に、キルンダさんとウエルンダさんという二人の



キルンダさんは、毎日<sup>まいにち</sup>どんどん<sup>もり</sup>森の木を伐<sup>き</sup>っていました。

「バッサバッサ、ワッハッハ、

自然<sup>しぜん</sup>に生<sup>き</sup>えている木を伐<sup>き</sup>るだけだかららくちんだなあ」

おじいさんが住<sup>す</sup>んでいて、森<sup>もり</sup>の木から色<sup>き</sup>々なものを作<sup>つく</sup>る仕事<sup>しごと</sup>をしていました。



ウエルンダさんは、森<sup>もり</sup>の木を大<sup>き</sup>切<sup>たいせつ</sup>に思<sup>おも</sup>い、必<sup>ひつよう</sup>要<sup>ぶん</sup>な分<sup>き</sup>だけ木を伐<sup>き</sup>って、  
伐<sup>き</sup>った分<sup>ぶん</sup>だけ新<sup>あた</sup>しい苗<sup>なえ</sup>を植<sup>う</sup>えて育<sup>そだ</sup>てていました。

「さあ、立<sup>りっぱ</sup>派<sup>おお</sup>に大<sup>き</sup>きな木<sup>そだ</sup>に育<sup>そだ</sup>っておくれよ」

き き つづ もり  
どどん木を伐り続けたキルンダさんの森は、  
いっほん き あ は  
とうとう一本の木もなくなり、荒れ果ててしまいました。  
こま どうぶつ もり に だ  
困った動物たちも森から逃げ出していました。



どうぶつ  
「ふん! 動物なんていなくていい。  
こんど もり さが き き  
今度は、ほかの森を探して木を伐ってやろう」

もり い い そだ  
ウエルンダさんの森は生き生きと育ち、  
どうぶつ あつ  
たくさんの動物たちも集まって、  
たの く  
みんなが楽しく暮らしていました。



もり げんき  
「森が元気だと、みんなうれしいね」  
もり あ しんばい  
「でも、キルンダさんの森は荒れていて心配だな～」

そんなある日、ふたご森に大雨が降りました。  
キルンダさんの森からは、  
土とまざった水がたくさん流れだしました。

「うわあ、大変だ！  
こんな水飲めないぞ～」



あくる日、雨があがって風が吹くと、  
こんどは砂ぼこりが舞いあがります。

「うわあ、これじゃあ目があけられない、  
砂ぼこりでのども痛くなったぞ～」



「昔は、こんなことは無かったのに、なんだかおかしいなあ」

そこで、こっそりウエルダさんの森を見に行った  
キルダさんはびっくり。  
森の木はすくすくと育ち、きれいな水と  
おいしい空気がいっぱいでした。  
キルダさんは聞きました。



「あんたも木を伐っているのに、  
どうしてまだ木があるんだい？」

「それは、伐った分だけちゃんと  
苗を植えて育てているからだよ」

「水も空気もきれいなのは、  
なぜなんだ？」

「森の木は根をはって土を支え、  
水も貯えてきれいにしてくれる」

「おいしい空気をつくりだすのも、  
木の葉のはたらきなんだよ」



「だから、木を伐る仕事をする人は、木を植えて森を守る責任があるんだ」

それ以来、  
キルダさんは心を入れ替え、  
ウエルダさんと一緒に、  
森に木を植えて大切に育てました。



やがてふたご森は、むかし以上に立派な森に育ち、動物たちも大喜び。  
きれいな水やおいしい空気が、ふもとの村にも届きました。



二人は、森の恵みに感謝しながら、  
長く幸せに暮らしました。

## お家の方へ

お子さまにも、ぜひお伝えください。森の大切な役割の数々。

- ▶ **たくさんの植物の光合成によって酸素をつくる。**
- ▶ **温度の急激な変化や風を抑え、気候を和らげる。**
- ▶ **野生動物や野鳥、昆虫や植物等の生息地になる。**
- ▶ **雨水をろ過し、河川にきれいな水を安定提供する。**
- ▶ **水を貯え、洪水や土石流などの土砂災害を防ぐ。**
- ▶ **住宅や家具や紙などの生活に欠かせない森林資源を育てる。**

など、ほかにもいろいろあります。

ネピアは、世界の森を守り、育てる活動に取り組んでいます。

FSC®のネピアを選べばいつものお買い物で森が守れます。

王子グループは、かねてから森のリサイクルに取り組み国内外で45万ha（海外26、国内19）の“王子の森”を適切なルールで運営しています。

ネピアでは、2011年から業界に先駆けて主要商品にFSC®認証紙を採用。さらに、2017年からはWWFジャパンと提携して、「森を守る紙 FSC®」の理解を広げる活動に取り組んでいます。

ネピアFSC

検索

FSC®は、世界で最も広く認められている国際基準の森林認証制度。FSC®のネピアを選べば、いつものお買い物で、世界の森林保全に協力することができます。



世界の森林を守るFSC®認証を応援しています。

WWF（世界自然保護基金）は、FSC®を応援する環境保護団体です。  
「人と自然が調和して生きられる未来」を目指し、100カ国以上で活動しています。  
© 1986 Panda symbol WWF® "WWF" is a WWF Registered Trademark





# \ Let's / 社会にいいお買い物



WWF®



FSC

## FSC®のネピア を選べば、世界の 森が守られます。

森を守る紙を選ぼう!

WWFはFSC®認証を応援しています。

FSC® C018118

ネピアの紙は、WWFが推奨する  
世界の森林を守る紙 FSC®認証紙です。\*  
※一部商品を除きます。



FSC®認証制度とは、大切な自然を守るために、ちゃんと森林や木材を管理しているかどうかをチェックする制度。つまりFSC®認証マークがついている製品を使うことは、世界の森林を守り、育てることを応援することにつながります。



やわらか♡ハート

nepia